

憲法施行70年 憲法を守り いかそう

大切にしたい

いのち・くらし・平和



今年こそ、憲法がいかされる平和な年に

2017年がスタートしました。「今年こそ平和な年に」「日本が戦争へと向かっているようで、怖い」「いつまでも、『戦後』が続いてほしい」。多くの方々の願いです。

今年は、日本国憲法施行70年。憲法に保障された基本的人権は、世界じゅうの憲法と比べてもトップレベルです。憲法9条は、対話による紛争解決の道を示し、その徹底した平和主義は、世界の宝です。憲法前文は「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有する」と高らかにうたっています。憲法がいかされる社会を実現しましょう。

戦争法NO！ 9条いかした平和外交を

戦闘が続く南スーダンに、安保法制＝戦争法による新任務を付与した自衛隊PKO部隊が派遣されました。「駆けつけ警護」など新任務遂行のために武器を使用し、「殺し殺される」危険が高まっています。憲法のもとで築いてきた平和を破壊し、戦争する国へ突き進む安倍政権の暴走を止めましょう。戦争法を廃止させましょう。

日本に求められているのは、PKO派兵という軍事支援ではなく、憲法9条の精神に立った外交努力や、非軍事の人道・民生支援ではないでしょうか。

基地はいらない！ オスプレイはいらない！

沖縄では、昨年末、オスプレイの墜落事故など米軍機の事故が相次ぎました。どれも集落のすぐ近くで起こっています。一歩間違えば大惨事かとゾッとします。「新たな基地はつくらせない」「オスプレイはいらない」という沖縄県民の総意を、踏みにじる安倍政権。沖縄の怒りと不安は頂点に達しています。

安保法制＝戦争法のもと、基地強化や日米共同訓練拡大が全国で進められています。「沖縄の負担」は軽減されないまま、沖縄の苦しみが全国に広げられようとしています。「沖縄全国統一署名」にご協力ください。

野党と市民の共同で、希望ある社会に

カジノ法、TPP関連法、年金カット法など、様々な悪法が強行採決された国会。一方で、「安倍政権の暴走ストップ」を求める市民の共同が広がり、それが後押しをして、立憲野党の共同が進んでいます。昨年の参議院選挙での野党統一候補の勝利は、「選挙で政治は変えられる」という希望をひらきました。

野党と市民の共同をさらに前進させましょう。立憲主義、民主主義、平和主義が実現される新しい政治、すべての人が「個人として尊重される」社会を実現しましょう。